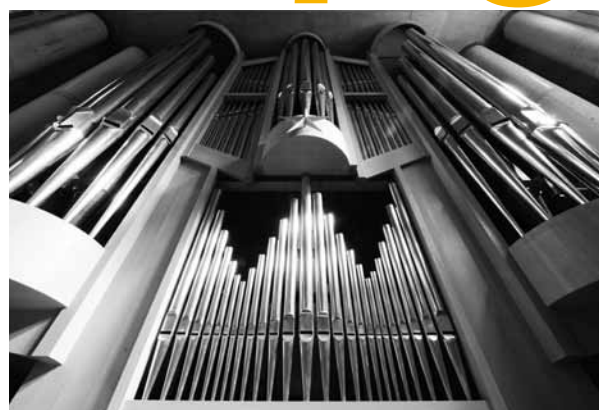




室住素子



FOCUS

7.20 [月・祝] ちょっとお昼にクラシック ～室住素子のオルガン・ファンタジー～

水戸芸術館のオルガンを誕生の時から見守ってきた才人

文 中村 晃

室住素子さん インタビュー

——東京大学文学部在学中に、「東大女声コーラス」の演奏会を行った教会で聴いたパイプオルガンとの出会いがきっかけで、オルガンを始められたそうですね。その時のオルガンとの衝撃の出会いについて、お話しください。

室住素子：メンバーが十数人の合唱団でお金も無かったので、教会なら貸して下さるかも、とお電話した中に松沢教会がありました。牧師様が「パイプオルガンもあるんですよ」とおっしゃり、貸して下さることになりました。その時の曲目はフォーレの〈レクイエム〉で、4曲目のソプラノ独唱を私が歌う事になっていました。私が息も苦しく、まるで首を絞められたニワトリのように歌う耳元で、オルガンのやわらかいフルートのような音色が、いつまでも鳴っていました。美しかった。その時、「もう歌はあきらめよう。オルガンをやろう」と思いました。初めてオルガンシューズを買った時には、よし、これに賭けるぞ！と思えて嬉しかったです。

——室住さんは、1989年に水戸芸術館開設準備室に入室され、音楽部門主任学芸員として97年まで在職されました。水戸芸術館ご在職時の思い出の中で、特に印象に残っていることをお教えてください。

室住：新人学芸員の頃は驚きの連続で

…ある時、無人のコンサートホールにスタインウェイのピアノが出ていたので弾いてみたら、音がきらきら輝いて、空中を飛んでいくのが見えました、まるで翼があるみたいに。音って、飛んだ！というのが衝撃でした。その後、大ホールでオケが出した音に、離れたオルガンから音を発して合わせる仕事をする事を思うと、最初の大切な気づきだったと思います。

また、学生時代は、「バッハを練習しなきゃ」と同じのりで「池辺を弾かなきゃ」と言っていましたが、就職して企画運営委員の池辺晋一郎先生にお目にかかり、ああ、本当に生きておられる！と目からウロコが落ちました。突然敬語になったのは勿論ですが、その後、様々な作品の曲目解説を書いたり演奏をしたりする度に、作曲家への温かい眼差しを持てるようになりました。

他にも、マリア・ジョアオ・ピリスやトン・コープマンの譜めくりをしたり、園児さん達とオルガンで遊んだり、文章を書く上で吉田秀和館長や畑中良輔先生にご指導いただいたり、宝物の思い出がいっぱいですが…辞める直前でしたか、私がお腹を空かせてオルガン講座の練習に立ち会っていた時、友の会の方が差し入れて下さったおにぎりの美味しさは、20年たっても忘れられないです。

——1990年の設置にも立ち会われている水戸芸術館のオルガンについて、どの

ような感想をお持ちですか。

室住：オルガンが造られたのは建物の建築と同時でしたので、ドリルの音が鳴り響き、石塵が舞う中でした。マナオルゲルバウの人たち、大変だったと思います。また、大震災で壊れても、再建の過程を公開してお客様に興味を持っていただき、回転する星や水笛を加えて再生しました。25年たっても生かされている、幸せな楽器ですね。

演奏者の立場からみると水戸のオルガンは、パイプが壁の中に埋め込まれたりせず、演奏者の頭上に突き出た屋根もなく、パイプの音が演奏者に明瞭に聞こえます。夜中に無人の時は残響も4秒ちかくあり、素晴らしい響きです。どの鍵盤にも美しい8フィートがあるので、鍵盤が多彩に使えます。

幼稚園児はじめ市民に広く開かれているだけでなく、プロムナード・コンサートを通じて芸大（東京芸術大学）の学生たちなどもここで研鑽を積んだ後、世界に羽ばたいていきます。オルガン文化の成熟に、水戸は大いに貢献してきたと思います。

——水戸芸術館の職を離れてからは、オルガニストとして、ソロはもとよりわが国の多くの主要オーケストラ等と共演を重ねられています。2010年には、小澤征爾指揮によるサイトウ・キネン・オーケストラのカーネギー・ホール公演に参加されていますね。そのツアーで特にご

記憶に残っていることはありますか。

室住 曲目は、ブリテンの〈戦争レクイエム〉でしたので、舞台上はオケと合唱で立錫の余地もないくらいでした。カーネギー・ホールにはパイプオルガンはなく、ロジャースの電子オルガンがありました。それを舞台袖に置き、客席4階で歌う児童合唱のためには、小さなキーボードを置きました。第6楽章では両方使うので、舞台袖から4階へ数分で移動しなくてはならないのですが、迷路のような道には鍵の掛かった扉が幾つもあり、階段もあり…先導するスタッフが途中で息を切れし murder! と叫んだので、私は一人で走り続けて間に合いました。小澤征爾さんのとてつもない力で大勢の熱意がまとまり、素晴らしいコンサートでした。終演後、12月のニューヨークの夜道で、潮田益子さんとばったりお会いし、「オルガン、綺麗だったわ」と微笑んでいただけたのが、無上のご褒

美となりました。

——今回のリサイタルについて、プログラムのご意図や聴きどころなどをお教えてください。

室住 プログラムを組む時、オルガンの魅力って何だろう?と改めて考えました。バロックだけではない多彩さはアピールしたく、バッハを忘却の闇から救い出し、その作曲技法にロマン派の音楽を注ぎ込んだメンデルスゾーンの子ナタを入れました。オルガンに色々な音色がある楽しさは、変奏曲なら表現しやすいので、〈庭の千草〉変奏曲を選びました。また、小さな音から大音響まで出せる魅力は、レーガーならではの。最後に、私の人生を決めた柔らかい風の音を、お客様にも聴いていただきたく、〈タイスの瞑想曲〉も入れました。

——最後に、水戸の聴衆の皆様にも、メッ

セージをお願いします。

室住 7月20日のコンサートは、「室住素子のオルガン・ファンタジー」というタイトルをいただきました。オルガンは機械で作られた風がパイプを通る時に音が出るわけですが、なんとか人が笛を吹くようにパイプを歌わせ、オルガンから色とりどりの風を吹かせたい、というのが私の願うファンタジーです。ご一緒に楽しんでいただけたら幸いです。

ちょっとお昼にクラシック

室住素子のオルガン・ファンタジー

7/20 月・祝 13:00 開場
13:30 開演

会場 水戸芸術館エントランスホール

全席指定 1,500円 (1ドリンク付)

出演 室住素子 (オルガン)

曲目

J.S. バッハ: トッカータとフーガ 二短調 BWV565

メンデルスゾーン: 6つのオルガン・ソナタ

作品65より第4番 変ロ長調

バック: 〈夏の名残りの薔薇 (庭の千草)〉による

変奏曲 作品59

レーガー: 序奏とパッサカリヤ 二短調

マスネ: タイスの瞑想曲

～夏休みオルガン企画～

音楽がたっぷり!水戸芸術館ですごす夏のひととき

8.15(土)

あなたに、わたしに、世界に Peace “パイプオルガン・プロムナード・コンサート”

文 中村 晃

太平洋戦争終結から70年目、水戸空襲、終戦を迎えた8月を「戦争と平和を考える月間」として、水戸市平和記念館、水戸市立博物館、水戸芸術館の3館が連携して開催する「び〜すプロジェクト」。8月15日にはエントランスホールで、平和作文コンクールで優秀な成績を収めた2人の小中学生の朗読発表会とパイプオルガン演奏をお届けします (13:30開演・入場無料)。オルガン演奏は、これまでに武蔵野、ニュルンベルク (ドイツ)、ブリクセン (イタリア) などのオルガン・コンクールで優勝を果たした福本茉莉さんです。J.S. バッハ 〈パッサカリヤ〉BWV582 他を取り上げます。

福本茉莉



8.23(日)

パイプオルガン探検ツアー

パイプオルガン・プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル

文 高巣真樹

浅井 美紀

西岡 崇

水戸芸術館が夏休みの小中学生におくる「こども・こらぼ・らぼ」は、今年で5回目を迎えます。おなじみの方もはじめての方も、水戸芸術館のあちこちでコンサートをきいたり、ワークショップに参加したりと、お好きなプログラムを選んでいろんな世界を体験してみましょう!

音楽では講師に、人気オルガニスト・浅井美紀さんを迎えて、子どものための「パイプオルガン探検ツアー」を行います! 国産最大級を誇るパイプオルガンを実際に弾いてみたり、楽器の内部を間近でみたりして、オルガンもの知り博士になってみませんか? またピアノやチェンバロなどの鍵盤楽器の仲間にもふれてみます (詳細は後日チラシやウェブサイトでご案内します。)

同日13:00からは、「パイプオルガン・プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル」を開催! 浅井美紀さんによるソロでマルシャン 〈グラン・ディアログ〉など、また同じくオルガニストの西岡崇さんとの息のあった連弾で、久石譲 〈Summer〉やジョプリン 〈ジ・エンターテイナー〉など、夏休み気分をもりあげる楽しい曲をお届けします! また、パイプオルガンがもつ多彩な音色の魅力にせまるコーナーもご用意する予定です。この夏はご家族やお友達とぜひ、水戸芸術館に遊びに来てくださいね!



2015.4.4

間宮芳生の肖像

水戸芸術館の開館以来、音楽部門の企画運営委員を務めてきた作曲家・間宮芳生の作品を特集する演奏会。間宮氏自身が企画・構成を行った。演奏会当日はコンサートに先立って、ステージ上に元気なお姿を見せ、「豊山派声明」「3人のジョン」など過去に企画した公演や本日の演奏曲などについて、野平一郎氏と共に話しいただいた。演奏会では、間宮氏の創作の原点とも言える日本民謡を題材とした〈日本民謡集〉や〈合唱のためのコンポジション 第1番〉をはじめ、〈弦楽四重奏曲 第2番 “いのちみな調和の海より”〉、〈ピアノ・ソナタ 第3番 “スプリング”〉が取り上げられた。出演者には、波多野睦美（唄）、野平一郎（ピアノ）、田中信昭（合唱指揮）、東京混声合唱団、ウェールズ弦楽四重奏団（ヴィオラは横溝耕一氏病気のため田原綾子氏が出演）という間宮氏の音楽に絶大な共感を寄せる、わが国を代表する音楽家たちが揃った。《中村》アンケートから■先生の作られた楽曲は人の本能から出てきた音魂の音という感じがします。（東海村の方）■今日は、大学1年の時に歌ったことのある〈合唱のためのコンポジション 第1番〉を素晴らしい演奏で聴けてうれしかったです。（大洗町の方）■水戸芸術館という素晴らしい音楽空間で、このような大変意義深い企画により、純粋に間宮音楽の真髄に触れられることは驚異的であり、また幸せなことだと感じました。（東京都の方）

2015.4.12

「茨城の名手・名歌手たち 第25回」出演者オーディション

茨城ゆかりの演奏家たちの登竜門「茨城の名手・名歌手たち」。今年のオーディションには51人（ソロ）と1組（アンサンブル）の応募があり、審査の結果、8人が合格しました。合格者は10月12日（月・祝）に開催する第25回演奏会に出演します。わが県、わが街の注目の名手たちの演奏にどうぞご期待ください。《篠田》【合格者（受験番号順）】■鍵盤楽器：澤田尚美（ピアノ／日立市出身）、永田絵里子（ピアノ／日立市在住）、小田倉知加（ピアノ／常陸太田市在住）、廣瀬由香里（ピアノ／水戸市出身）、村田果穂（ピアノ／つくば市在住）、浜口夏生（ピアノ／龍ヶ崎市出身）■弦楽器：牛草春（ヴァイオリン／常陸太田市出身）■邦楽器：宇佐見明子（箏／取手市在勤）

2015.4.26

「準・メルクル 弦楽器貸与プロジェクト（第2期）」貸与者決定！

水戸芸術館は、専属楽団・水戸室内管弦楽団

（MCO）と長年共演している指揮者の準・メルクル氏から、2012年以来、ヴァイオリン4挺とヴィオラ3挺をご寄贈いただきました。音楽を学ぶ学生を支援すべく改めて貸与者を募り、4月26日（日）にMCO楽団長の堀伝さん、同ヴァイオリン奏者の中村静香さんによる審査を行い、今後2年間、次の方たちへの貸与が決まりました。[ヴァイオリン]市村玲央奈さん（中学1年／日立市）、佐藤華子さん（中学2年／日立市）、飛田紗希さん（高校1年／ひたちなか市）、城野聖良さん（高校1年／龍ヶ崎市）[ヴィオラ]久保田綾香さん（大学3年／水戸市）、伊師裕人さん（大学研究生／牛久市）、水戸ジュニアオーケストラ

2015.5.15,17

水戸室内管弦楽団 第93回定期演奏会

2015.5.16

高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン

今回は冒頭で、4月に永眠されたMCO ヴィオラ奏者、江戸純子さんのために献奏に、モーツァルト作曲〈ディヴェルティメント〉K.136 (125a) より第2楽章が献奏された。プログラムは、ローランド・アルトマンさん独奏によるゲルスター作曲〈ティンパニと弦楽のためのカプリチエツト〉。稀代のソリストでもあるアルトマン氏ならではの切れ味の鋭い妙技が披露され、客席を魅了した。モーツァルト〈ヴァイオリン協奏曲 第5番〉では、全身から音楽が溢れだす竹澤恭子さんのソロとオーケストラによるエネルギーあふれる音の会話が繰り広げられた。後半はベートーヴェン〈交響曲 第2番〉。格別の信頼で結ばれた小澤総監督とMCOによるアンサンブルは大海原のように豊かに息づき、快活でときにユーモラスな作品の魅力を浮き彫りにした。

5月16日には今年全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門に県代表として出場する県立並木中等教育学校の生徒に、MCOの管楽器メンバーと小澤総監督が公開レッスンをを行い、第一線で活躍する音楽家たちならではの音楽創りの秘訣を指導した。《高巣》アンケートから■やわらかく深みのあるアルトマンさんのティンパニが大好きですが、今回のソロを聴き、さらにファンになりました。（水戸市の方）■とても力強い小澤さんの指揮、息遣いも聞こえて一秒一秒生きていて感じました。（東京都の方）■新しい若いメンバーが入り、元気がさらに増した小澤さんの指揮で、MCOにさらに魅力を感じました。（神奈川県：Y.S.さん）■竹澤さんMCO入団、おめでとうございます。パワフルで透き通った音のモーツァルト。マエストロ小澤が振るとMCOが生きて生きとして元気がいただけます。今日も手のひらが痛くなるほど拍手喝采です。（千葉県：K.A.さん）

最近の公演から



1



2



3



4



5



6

1 - 2 : 間宮芳生の肖像
3 - 5 : 水戸室内管弦楽団 第93回定期演奏会
6 : 高校生のためのMCOメンバーによる公開レッスン

チケット・インフォメーション

《6月27日(土) 発売分》

- 小さな聴き手のためのコンサート 音楽物語〈ぞうのパパール〉
9/12(土) 14:00 開演
料金【全席指定】大人 ¥1,500 / 子ども (3歳以上 12歳以下) ¥1,000
- 森亮子 オルガン・リサイタル
9/28(月) 19:00 開演 料金【全席自由】 ¥2,000
- 小川瞳 ピアノ・リサイタル
10/4(日) 14:00 開演
料金【全席自由】 一般 ¥2,000 / 高校生以下 ¥1,000
- 茨城の名手・名歌手たち 第25回(司会:池辺晋一郎)
10/12(月・祝) 18:00 開演 料金【全席自由】 ¥1,500

これからの演奏会・残席情報

- …残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席
- ◎ちょっとお昼にクラシック 武久源造(フォルテピアノ)
……………6/17(水) 中央×、左右○
- ◎Duo ponte nota リサイタル 2015……………6/28(日) 自由席○
- ◎ちょっとお昼にクラシック 室住素子のオルガン・ファンタジー
……………7/20(月・祝) 1F△、2F△
- ◎フィリップ・トンドゥル オーボエ・リサイタル
……………8/11(火) 中央△、左右○
- ※6/3(水) 現在の状況です。
※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

水戸芸術館の主な7・8月のスケジュール

コンサートホール ATM

- 〈水戸市芸術文化活性化事業〉
ベルリン・フィルの名手とベルリンと水戸の子どもの交流コンサート
7/19(日) 13:30 開演
料金【全席指定】 一般 ¥2,000 / 高校・大学生 ¥1,000 / 小・中学生 ¥500
- フィリップ・トンドゥル オーボエ・リサイタル
8/11(火) 19:00 開演
料金【全席指定】 一般 ¥3,000 / ユース(25歳以下) ¥1,000
- 〈第47回 水戸市芸術祭〉
□水戸市合唱祭 7/12(日) 13:00 ~ 18:00 入場無料【全席自由】
□市民音楽会 7/26(日) 13:00 ~ 18:00 入場無料【全席自由】
□少年少女合唱祭 8/2(日) 14:00 ~ 16:00 入場無料【全席自由】
□ジュニアオーケストラ演奏会 8/16(日) 14:00 ~ 16:00
料金【全席自由】 ¥500
□交響楽演奏会 8/30(日) 14:00 ~ 16:00 料金【全席自由】 ¥1,500

エントランスホール

- ちょっとお昼にクラシック 室住素子のオルガン・ファンタジー
7/20(月・祝) 13:30 開演
料金【全席指定】 ¥1,500 (1ドリンク付き)
- パイプオルガン プロムナード・コンサート (入場無料)
□7/4(日) 野田美香 12:00 ~ / 13:30 ~ (各回 30分程度)
□7/19(日) 千田寧子 11:00 ~ / 12:00 ~ (各回 30分程度)
□8/15(土)「び〜すプロジェクト」関連コンサート
福本茉莉 13:30 ~ (45分程度)
□8/23(日)《夏休みスペシャル》浅井美紀、西岡崇 13:00 ~ (50分程度)

ACM 劇場

- び〜すプロジェクト 朗読劇『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』
7/18(土) 15:00 開演
料金【全席指定】 S席 ¥4,500 / A席 ¥4,000 / B席 ¥3,500
- び〜すプロジェクト
物語の女たちシリーズ『黒い雨〜八月六日広島にて、矢須子〜』
7/25(土) 14:00 開演
料金【全席指定】 S席 ¥4,500 / A席 ¥4,000 / B席 ¥3,500
- び〜すプロジェクト『未来へつなぐ記憶〜』
8/2(日) 16:30 開演 料金【全席指定】 S席 ¥3,500 / A席 ¥2,500
- 〈第47回 水戸市芸術祭〉
□三曲各流演奏会 7/5(日) 13:00 ~ 16:30 入場無料【全席自由】
□バレエフェスティバル 7/12(日) 料金【全席指定】 各 ¥500
シオンバレエ 14:00 開演 / 瑞穂バレエ教室 16:00 開演
□演劇フェスティバル
・舞踊劇団「創(生まれる)」『木野花佐久皆売 〆と ii 桜』
8/21(金) 18:00 開演 料金【全席自由】 ¥1,500
・演劇集団「風ノ街」『自由の王国』
8/22(土) 18:00 開演 料金【全席自由】 一般 ¥1,000 / 大学生以下 ¥800
・プロフェッショナル・オーネンズ『SLAPSTICKS』
8/23(日) 16:00 開演 料金【全席自由】 前売り ¥800 / 当日 ¥1,000
・茨城大学演劇研究会『ウェルカム・ホーム!』
8/28(金) 18:00 開演 料金【全席自由】 一般 ¥1,000 / 大学生以下 ¥800
・演劇フェスティバル実行委員会プロデュース公演『眞作・罪と罰』
8/29(土) 18:00 開演、8/30(日) 14:00 開演 料金【全席自由】 ¥1,500

現代美術ギャラリー

- 〈第47回 水戸市芸術祭〉美術展覧会 第2期
(書・写真・デザイン・インスタレーション)
7/1(水) ~ 12(日) 9:30 ~ 18:00 入場無料 ※入場は 17:30 まで
- カフェ・イン・水戸 R
8/1(土) ~ 10/18(日) 9:30 ~ 18:00 ※入場は 17:30 まで
[休館日] 月曜日 ※ただし 9/21・10/12(月・祝) は開館、10/13(火) は休館
[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600
※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料
- 夏休みのアート体験!「こども・こらぼ・らぼ 2015」
8/22(土)、23(日) 各日 10:00 ~ 16:30 (受付 9:30 ~)
[対象] 小中学生とその家族
[参加費] 〈1日券〉小中学生 ¥800 / 高校生以上 ¥1,000
〈2日券〉小中学生 ¥1,000 / 高校生以上 ¥1,200
※高校生以上の方は展覧会入場料が含まれています ※申込み方法、プログラム
等詳細はチラシまたはホームページをご覧ください(情報は7月上旬公開予定)

チケットに関するお問い合わせ

- 水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000
営業時間: 9:30 ~ 18:00 (月曜休館)
- 公演内容や企画に関するお問い合わせ
水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118
- ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>
公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>
ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場
twitter @ConcertHall_ATM

※8/11「フィリップ・トンドゥル オーボエ・リサイタル」に関する記事は7月中旬発行の次号に掲載いたします。

編集後記

人混みと行列は苦手な私が、果敢に攻めました。日曜日の六本木、スター・ウォーズ展。会場に入るまでに40分並び、憧れのダース・ベイダーと写真を撮るためさらに30分の待ち時間。それゆえ達成感は相当でした。(り)

早くも夏のようなお天気が続き、暑さで目が覚めることもしばしば。そんな今朝、私が最も恐れる虫、ゲジゲジが夢に出てきた。今年も家に出没することを暗示しているのか、あまりの恐ろしさに一瞬目が覚めた。(稲)

――念発起。数年前に買って作りかけのままになっていたウクレレワークキットの制作を再開した。ラッカーの吹き付けが終わって、次は指板と駒の取り付け。弦を張ったら完成だ。今年の夏は家族とウクレレで遊びたい!(篠)

庇に脚長蜂が巣を作り始めた。毎日コツコツこしらえている。えらいなあ。めったに人を刺さないし、庭にいる毛虫を食べてくれる益虫でもあるので、巣作りを応援することに。不用意に刺激しないように…。(て)

すばらしい指揮者の言葉から。「間宮芳生の肖像」リハで、田中信昭氏は東京混声合唱団がうたう子守唄をきいて「声はいらない、愛情を!」と毅然と仰った。合唱曲で声がいらないとは…!音楽が一言で導かれた瞬間。(樹)

電子書籍にハマっている。日本近代文学の名作などが自由に読める有り難さ。暗い所でも読めて重宝するが、文豪たちの壮麗、重厚な日本語を媒介する器としては少し軽薄に感じてしまう。(完全デジタル移行は難しい"中")

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]
2015年7+8月発行 第199号
編集発行: 水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130
E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp
URL <http://arttowermito.or.jp/>
編集: 水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子
稲田枝里子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃
デザイン: 藤澤純子
印刷所: 山三印刷株式会社